

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長

(氏名) 増田 健

(TEL) 042-772-5231

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	17,857	4.0	2,097	15.5	2,347	28.9	1,536	19.7
27年3月期第1四半期	17,168	14.8	1,815	19.2	1,820	10.5	1,283	△11.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,202百万円(34.2%) 27年3月期第1四半期 1,641百万円(△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	24	94	24	86
27年3月期第1四半期	20	90	20	81

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
28年3月期第1四半期	106,545		67,506		63.2	1,092	63	
27年3月期	105,126		67,254		63.8	1,088	96	

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 67,380百万円 27年3月期 67,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00	—
28年3月期	—	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	39,500	15.6	4,000	10.2	4,100	8.3	3,000	9.5	48	67
通期	78,000	1.4	7,900	0.5	8,100	△1.3	6,000	△3.3	97	31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	73,647,321株	27年3月期	73,647,321株
28年3月期1Q	11,979,570株	27年3月期	12,024,268株
28年3月期1Q	61,623,442株	27年3月期1Q	61,421,876株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国を始めとする新興国経済が低迷するなかで、米州経済は堅調に推移、欧州経済も改善の兆しを見せ、全体として緩やかな回復基調を辿りました。国内経済については、円安等の影響で企業業績は順調に推移し企業の設備投資も回復傾向にあります。また、賃上げや原油安等を背景に個人消費マインドも改善しつつあり、総じて景気は緩やかに回復している状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内向けの受注が増加し、当第1四半期連結累計期間の受注は前年同期比1.2%増の44,481百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度よりスタートした中期経営計画(平成27年3月期～平成29年3月期)において、「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として深化・追求する」というビジョンのもと、①更なる事業拡大を実現する基盤の構築、②グローバル市場におけるトップブランドの確立、③素材成形の新技术追求、という3つの重要指針を掲げ、事業基盤の強化と収益拡大に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間においては、人材強化や生産能力向上等、事業基盤強化に努めるとともに、販売面ではグループ各社がグローバルに連携し、海外搬入案件の受注獲得に傾注してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、日本、米州、欧州で増加し、四半期としては過去最高の24,148百万円（前年同期比23.7%増）となり、受注残高は前連結会計年度末の51,934百万円より大幅に増加し58,225百万円（同4.4%減）となりました。売上高は、日本、アジアにおいて自動車関連向けの売上が増加し、前年同期比4.0%増の17,857百万円となり、利益面では、増収効果、原価率改善、円安効果等により営業利益が2,097百万円（同15.5%増）となりました。営業外収益として為替差益を156百万円計上したことにより経常利益は2,347百万円（同28.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,536百万円（同19.7%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

- 日本： 高速精密プレス機やサービスの売上が増加し、売上高は10,584百万円（前年同期比6.6%増）となりましたが、人件費や減価償却費等の増加により、セグメント利益は948百万円（同17.2%減）となりました。
- アジア： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上増加等により、売上高は5,587百万円（前年同期比26.1%増）となり、セグメント利益は増収効果と原価低減により662百万円（同139.4%増）となりました。
- 米州： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上減少により、売上高は5,420百万円（前年同期比3.1%減）となりましたが、原価率改善等によりセグメント利益は445百万円（同24.3%増）となりました。
- 欧州： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上減少により、売上高は2,888百万円（前年同期比23.3%減）となり、セグメント利益は3百万円（同95.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べて1,418百万円増加し、106,545百万円となりました。主な要因は、配当支払等による現金及び預金の減少1,531百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の増加2,597百万円、設備投資による有形固定資産の増加1,063百万円であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1,167百万円増加し、39,038百万円となりました。主な要因は、買掛金及び電子記録債務の減少1,276百万円、短期借入金の増加1,543百万円、前受金の増加1,348百万円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて251百万円増加し、67,506百万円となりました。主な要因は、期末配当等に伴う利益剰余金の減少413百万円、その他有価証券評価差額金の増加324百万円、為替換算調整勘定の増加313百万円であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は63.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,868	21,337
受取手形及び売掛金	22,585	25,066
電子記録債権	242	358
有価証券	7,200	6,200
製品	2,504	2,170
仕掛品	9,318	10,287
原材料及び貯蔵品	2,705	2,910
繰延税金資産	1,434	1,149
その他	5,824	5,012
貸倒引当金	△69	△78
流動資産合計	74,614	74,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,850	22,040
減価償却累計額	△14,161	△14,318
建物及び構築物（純額）	7,688	7,721
機械装置及び運搬具	11,108	12,586
減価償却累計額	△6,807	△7,117
機械装置及び運搬具（純額）	4,300	5,468
土地	5,102	5,110
建設仮勘定	1,524	1,366
その他	2,767	2,859
減価償却累計額	△2,149	△2,230
その他（純額）	617	629
有形固定資産合計	19,233	20,297
無形固定資産	1,121	1,142
投資その他の資産		
投資有価証券	5,804	6,276
保険積立金	3,488	3,513
退職給付に係る資産	519	546
繰延税金資産	162	163
その他	208	217
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	10,156	10,690
固定資産合計	30,511	32,130
資産合計	105,126	106,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,930	8,569
電子記録債務	2,769	2,854
短期借入金	391	1,934
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,212	1,565
未払法人税等	1,182	587
前受金	10,799	12,148
製品保証引当金	1,479	1,256
賞与引当金	1,096	508
役員賞与引当金	58	29
受注損失引当金	80	139
圧縮未決算特別勘定	1,224	1,195
その他	2,604	2,913
流動負債合計	33,328	34,201
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期末払金	424	519
繰延税金負債	2,441	2,619
株式給付引当金	200	211
退職給付に係る負債	102	106
その他	373	379
固定負債合計	4,543	4,836
負債合計	37,871	39,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,415	12,416
利益剰余金	44,951	44,537
自己株式	△5,188	△5,167
株主資本合計	60,008	59,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,056	3,380
繰延ヘッジ損益	△211	△177
為替換算調整勘定	3,754	4,067
退職給付に係る調整累計額	496	491
その他の包括利益累計額合計	7,096	7,762
新株予約権	149	126
純資産合計	67,254	67,506
負債純資産合計	105,126	106,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	17,168	17,857
売上原価	13,271	13,435
売上総利益	3,897	4,421
販売費及び一般管理費	2,081	2,323
営業利益	1,815	2,097
営業外収益		
受取利息	16	25
受取配当金	54	77
為替差益	—	156
その他	24	20
営業外収益合計	95	279
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	48	—
その他	33	23
営業外費用合計	90	30
経常利益	1,820	2,347
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	103	—
特別利益合計	104	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,924	2,347
法人税、住民税及び事業税	304	435
法人税等調整額	336	374
法人税等合計	641	810
四半期純利益	1,283	1,536
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,283	1,536

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,283	1,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332	324
繰延ヘッジ損益	163	33
為替換算調整勘定	△136	313
退職給付に係る調整額	△1	△5
その他の包括利益合計	358	665
四半期包括利益	1,641	2,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,641	2,202

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,783	3,996	5,373	3,015	17,168	—	17,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,142	434	223	750	6,551	△6,551	—
計	9,925	4,430	5,596	3,766	23,719	△6,551	17,168
セグメント利益	1,146	276	358	75	1,857	△41	1,815

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,481	4,550	5,108	2,716	17,857	—	17,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,103	1,036	312	171	6,623	△6,623	—
計	10,584	5,587	5,420	2,888	24,480	△6,623	17,857
セグメント利益	948	662	445	3	2,060	36	2,097

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

受注の状況

当第1四半期連結会計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前年同期比（%）
日本	9,970	45.9	21,273	△3.0
アジア	3,945	△45.2	12,493	△4.8
米州	5,526	42.5	12,301	△20.5
欧州	4,705	191.4	12,157	16.9
合計	24,148	23.7	58,225	△4.4

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。